

夏の夜空に舞う幾千の風船

第41回たたら祭り

令和元年8月31日、9月1日にSKIPシティにて第41回たたら祭りが開催された。

川口市内外からのべ30万人の方々が訪れ、メインステージでのパフォーマンス、バザール、芸人ライブ等の催し物を楽しんだ。

今年はおートレース場からSKIPシティに会場が変更になったが、橋委員長率いる市民祭り委員会を中心とした、川口YEGメンバーの活躍もあり、大きな混乱や事故等もなく大盛況のうちに幕を閉じた。

会場変更により恒例の花火大会は実施されなかったが、1日夜に川口YEG市民祭り委員会橋委員長の想いが詰まった千百個のルミエムという光るバルーンが打ち上げられフィナーレを飾った。



来年度への思い新たに 北区花火大会

たたら祭り「反省慰労会」

参加した総務広報委員会の清水信守さんは、「今年メンバー

として初参加だったが、昔から慣れ親しんできた、たたら祭りが、このようにYEGメンバーの協力のもとに成り立っていたとは当時は思ってもよらなかった。何年にも渡ってたたら祭りが継続され、それを担ってきた先輩方には頭が下がる思いだ。来年以降たたら祭りがなくなるのは寂しいが、これからは花火大会等のイベントを通してたたら祭りの精神が受け継がれていくことを望む。」と語った。

橋委員長コメント

第41回たたら祭りに皆様のご参加頂き、運営にご協力を頂きましたこと、心から感謝申し上げます。大きな事故もなく2日間を無事に終えることができました。今年はお天気がスキップシティになり、不安な部分もありましたが市民祭りメンバーを軸に、他委員会の皆様のご協力のもと無事に大成功に終えることができました。最後は伝統のバカ騒ぎでしたが、これが市民祭り委員会の良さ、楽しさだと感じてます。

大成功に終わったたたら祭りの反省慰労会が9月28日に開催された。今年には北区花火大会に約30名のYEGメンバーが参加した。

メンバーからは歓声が上がった。参加した総務広報委員会の江連委員長は「途中参加し会場

に入れず場外より花火を観望しました。場外も賑わい盛大な花火大会でした。」と語った。

18時半から始まった花火の打ち上げは延べ9千発の壮麗なもので、花火を見ながらたたら祭り、そして来年度の花火大会の話題で参加したメンバーも大いに盛り上がった。

水門を背景とした、人気楽曲とのコラボレーション花火にメ



最後にたたら祭りへのご協力本当にありがとうございました。ごさいまし

市民祭り委員会
委員長 橋 信之

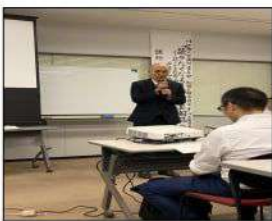
読まれる紙面へ一歩前進

広報を学ぶ
～総務広報委員会オープン委員会～

読みたくなる・伝わる広報誌の作り方を学ぶため、広報誌アドバイザー・元産経新聞編集局整理部長の芝沼隆一さんをお招きし、9月26日に商工会議所会議室で総務広報委員会主催の『オープン委員会』が行われた。

51人が参加し、講義の中で取材の大切さや記事の書き方、見出しのつけ方をテキストを使いながら「記事の基本は5W1H」「why:いつ what:何が when:いつ where:どこで who:誰が how:どうした」「取材をしなければ5W1Hが抜けた記事になる」「記事は結論から書

く」「見出しの形と役割」を実践形式で学んだ。芝沼さんは「見出しで人が読むか読まないかが決まる。」「様子が伝わる見出しをつけよう」と話した。また「結論から記事を書く」は広報誌だけでなく仕事の面でも企画書や報告書を書く時にも非常に役立つとも話した。



中野偉雄

講義中、5W1Hを意識して文章を作成してみるとこれが中々に難しい。普段の生活でメールやライン等のSNSを頻繁に使用するのがその文章は主語や述語を省略することが多々ある。文章の書き方の基礎を忘れてしまっている自分が恥ずかしかった。

商工会議所青年部の原浩治会長は挨拶の中で「見る人の為の情報発信の仕方を考えることで自分を知ら、会社を知る事につながる」「そして学んだことを実行しなくては意味がない」と話した。

又、参加した共和機工(株)小林和八監事は「大変役立つ内容でありすぐに自社のHPを見直したい」と話した。

江連委員長コメント

過日行われました総務広報委員会のオープン委員会にご参加頂きました、原会長を始めとするメンバーの皆さま、OBの皆さま、オブザーバーの皆さま、誠にありがとうございました。ご協力頂きました。誠にありがとうございました。委員長としてSNSを通じて私たちの活動を皆様知ってもらいたい思いでメンバーから今回の講師を紹介して頂き、是非とも多くの仲間と共に勉強したいと思いを開催しました。

結果、過去に私が担当したYEG新聞に恥ずかしさを覚え、配信する上で、多くの方に読みたくなる、伝わるようにするヒントを学ばせて頂いた勉強会でした。

今後のYEG新聞もどうぞ宜しくお願いします。

最後に開催にあたりましてご協力頂きました総務広報委員会の皆様、誠にありがとうございました。ご協力ありがとうございました。

総務広報委員会
委員長 江連俊隆

川口開催に向けて充実の学び

研修と交流の集いin本庄

9月7日に「研修と交流の集いin本庄」が本庄市の本庄市民文化会館にて開催された。

川口YEGからは原会長以下27名のメンバーが参加した。「研修と交流の集い」(以下KKT)は2月に行われる「ヤングリーダー研修会」と並ぶ埼玉県商工会議所青年部連合会



(以下埼青連)の2大事業となっている。県内の青年部メンバーが一堂に集まり、沢山の気づきや刺激など得ることができ、貴重な機会となっております。県内YEG単会が持ち回りで年に一度開催している。川口YEGにおいても過去に一度開催した。令和3年度にはKKTがまた川口

で開催され、次年度からはそのKKT川口大会に向けた準備も始まる。川口YEGメンバー丸となったこの大会を成功裏に収めるために、一人でも多くのメンバーにこの県連2大事業に今後も積極的に参加し、肌で感じる必要がある。また当日は、埼青連設立30周年を記念した式典も行われ、30年という歴史の重みを感じるとともに、これからの令和時代を見据えた未来志向の素晴らしい式典となった。

今回初参加となった平澤宏之さんは「あまり趣旨もわからないまま参加してしまいました。が、他市YEGの方とも交流でき、それぞれの志を感じる事ができた有意義な時間を頂いたと思います。今思えば、兄弟と日帰りで行く年に一回集合する親戚達と宴でした(笑)。(原文ママ)と語った。

関口賢一